

令和6年度第1回桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 会次第

日 時：令和6年4月23日（火）10：00～11：00

場 所：かごしま市民福祉プラザ5階大会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 第1号議案 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則の一部改正
- (2) 第2号議案 令和5年度事業報告
- (3) 第3号議案 令和5年度収支決算
- (4) 第4号議案 令和6年度事業計画（案）
- (5) 第5号議案 令和6年度収支予算（案）

3 その他

4 閉 会

【配布資料】

- (1) 会次第
- (2) 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会名簿及び座席図
- (3) 議事関係資料（第1～5号議案）
- (4) 参考資料1（桜島・錦江湾ジオパークアクションプラン）
- (5) 参考資料2（ジオ資源一覧）

第1号議案

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則一部改正の件

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則（令和5年5月12日施行）の一部を次のように改正する。

第10条中

「鹿児島市観光交流局観光交流部長」を「鹿児島市観光交流局次長」に改める。

第13条中

「鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課」を「鹿児島市観光交流局世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課」に改める。

別表1（第4条関係）中

「

委員	ツーリズムたるみず代表
----	-------------

」

を

「

委員	NPO法人SmileFactory代表理事
----	-----------------------

」

に改める。

別表2（第10条関係）中

「

座長	鹿児島市観光交流局観光交流部長
----	-----------------

」

を

「

座長	鹿児島市観光交流局次長
----	-------------

」

に

幹 事	ツーリズムたるみず代表
-----	-------------

を

幹 事	NPO法人SmileFactory代表理事
-----	-----------------------

に改める。

別表3（第12条関係）中

国立大学法人京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授	井口 正人
------------------------------	-------

を

国立大学法人京都大学 名誉教授	井口 正人
-----------------	-------

に改める。

付 則

この会則は、令和6年4月 日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和6年4月1日から適用する。

(改正理由)

鹿児島市の組織改編、委員等の変更、学術アドバイザーの職名変更に伴い、改正するもの。

(参考)

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則新旧対照表

_____は改正部分

現行	改正案												
第10条 省略 6 座長は <u>鹿児島市観光交流局観光交流部長</u> とする。 7 省略	第10条 省略 6 座長は <u>鹿児島市観光交流局次長</u> とする。 7 省略												
第13条 省略 2 協議会の事務局は <u>鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課</u> に置く。 3 省略	第13条 省略 2 協議会の事務局は <u>鹿児島市観光交流局世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課</u> に置く。 3 省略												
別表1 (第4条関係)	別表1 (第4条関係)												
<table border="1"><thead><tr><th>役職</th><th>氏名</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員</td><td><u>ツーリズムたるみず代表</u></td></tr></tbody></table>	役職	氏名	委員	<u>ツーリズムたるみず代表</u>	<table border="1"><thead><tr><th>役職</th><th>氏名</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員</td><td><u>NPO法人SmileFactory</u> <u>代表理事</u></td></tr></tbody></table>	役職	氏名	委員	<u>NPO法人SmileFactory</u> <u>代表理事</u>				
役職	氏名												
委員	<u>ツーリズムたるみず代表</u>												
役職	氏名												
委員	<u>NPO法人SmileFactory</u> <u>代表理事</u>												
別表2 (第10条関係)	別表2 (第10条関係)												
<table border="1"><thead><tr><th>役職</th><th>氏名</th></tr></thead><tbody><tr><td>座長</td><td><u>鹿児島市観光交流局観光交流部長</u></td></tr><tr><td>幹事</td><td><u>ツーリズムたるみず代表</u></td></tr></tbody></table>	役職	氏名	座長	<u>鹿児島市観光交流局観光交流部長</u>	幹事	<u>ツーリズムたるみず代表</u>	<table border="1"><thead><tr><th>役職</th><th>氏名</th></tr></thead><tbody><tr><td>座長</td><td><u>鹿児島市観光交流局次長</u></td></tr><tr><td>幹事</td><td><u>NPO法人SmileFactory</u> <u>代表理事</u></td></tr></tbody></table>	役職	氏名	座長	<u>鹿児島市観光交流局次長</u>	幹事	<u>NPO法人SmileFactory</u> <u>代表理事</u>
役職	氏名												
座長	<u>鹿児島市観光交流局観光交流部長</u>												
幹事	<u>ツーリズムたるみず代表</u>												
役職	氏名												
座長	<u>鹿児島市観光交流局次長</u>												
幹事	<u>NPO法人SmileFactory</u> <u>代表理事</u>												
別表3 (第12条関係)	別表3 (第12条関係)												
<table border="1"><thead><tr><th>職名</th><th>氏名</th></tr></thead><tbody><tr><td><u>国立大学法人京都大学防災研究所</u> <u>火山活動研究センター 教授</u></td><td>井口 正人</td></tr></tbody></table>	職名	氏名	<u>国立大学法人京都大学防災研究所</u> <u>火山活動研究センター 教授</u>	井口 正人	<table border="1"><thead><tr><th>職名</th><th>氏名</th></tr></thead><tbody><tr><td><u>国立大学法人京都大学 名誉教授</u></td><td>井口 正人</td></tr></tbody></table>	職名	氏名	<u>国立大学法人京都大学 名誉教授</u>	井口 正人				
職名	氏名												
<u>国立大学法人京都大学防災研究所</u> <u>火山活動研究センター 教授</u>	井口 正人												
職名	氏名												
<u>国立大学法人京都大学 名誉教授</u>	井口 正人												

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、桜島・錦江湾におけるジオパークに関する活動を地域一体となって推進していくことを通して、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ジオパークに関わる企画・実施に関すること
- (2) ジオパークに関わる情報発信に関すること
- (3) その他第2条の目的を達成するために必要な事項に関すること

(構 成)

第4条 協議会は、別表1に掲げるものをもって構成する。

(役 員)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長及び副会長は、委員の互選により選任する。

2 監事は、公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事及び鹿児島市ホテル旅館組合理事長とする。

(役員の任期)

第7条 役員の前任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

3 欠員補充のため選任された役員の前任期は、前任者の前任期とする。

(役員の前務)

第8条 役員の前務は次のとおりとする。

- (1) 会長は協議会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- (3) 監事は協議会の会計を監査する。

(会議)

第9条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 会議の前議長は、会長がこれを務める。

3 会議は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 事業計画並びに予算及び決算に関すること。
- (2) 前各号に掲げるもののほか、事業に係る重要な事項に関すること

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

5 やむを得ない理由のため会議を招集できない場合は、書面又は電磁的方法により、審議し、決定することができる。

(幹事会)

第10条 協議会の運営を円滑に行うため、幹事会を置く。

2 幹事会は、事業計画並びに予算及び決算等を審議し、協議会に提案する。

3 幹事会は、協議会の事業に関する具体的な事項について検討する。

4 幹事会は、別表2に掲げるものをもって構成する。

5 幹事会に座長を置く。

6 座長は鹿児島市観光交流局次長とする。

7 座長の職務等については、第8条第1号並びに前条第1項、第2項、第4項及び第5項の規定を準用する。

(ワーキンググループ)

第11条 協議会の個別の事業に関する具体的な事項について検討し、その推進を図るため、幹事会に、ワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(学術アドバイザー)

第12条 協議会に、学術アドバイザーを置く。

2 学術アドバイザーは、別表3に掲げるものをもって構成する。

3 学術アドバイザーは、事業に関し必要に応じて助言を行う。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 協議会の事務局は、鹿児島市観光交流局世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課に置く。

3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第14条 協議会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(会計期間)

第15条 協議会の会計期間は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

(その他)

第16条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

付 則

1 この会則は、平成25年4月12日から施行する。

2 平成25年度の会計期間は、第14条の規定にかかわらず、平成25年4月12日から翌年3月31日までとする。

付 則

この会則は、平成26年4月22日から施行する。

付 則

この会則は、平成27年4月22日から施行する。ただし、第12条第2項の改正規定は、平成27年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

付 則

この会則は、平成29年4月26日から施行する。

付 則

この会則は、平成30年5月7日から施行する。ただし、改正後の規定は、平成30年4月1日から適用

する。

付 則

この会則は、平成31年3月28日から施行する。ただし、第13条第2項の改正規定は、平成31年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和2年4月28日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和2年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和3年4月28日から施行する。

付 則

この会則は、令和4年4月27日から施行する。ただし、改正後の規定は、令和4年4月1日から適用する。

付 則

この会則は、令和5年5月12日から施行する。

付 則

この会則は、令和6年4月 日 から施行する。ただし、改正後の規定は、令和6年4月1日から適用する。

別表1（第4条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会委員

役 職	職 名
委 員	鹿児島市長
委 員	始良市長
委 員	垂水市長
委 員	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所長
委 員	鹿児島地方気象台長
委 員	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所長
委 員	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署長
委 員	鹿児島県鹿児島地域振興局長
委 員	鹿児島県始良・伊佐地域振興局長
委 員	鹿児島県大隅地域振興局長
委 員	公益社団法人鹿児島県観光連盟専務理事
委 員	一般社団法人日本旅行業協会九州支部鹿児島県地区委員会委員長
委 員	鹿児島経済同友会幹事代表
委 員	公益社団法人鹿児島青年会議所理事長
委 員	国立大学法人京都大学火山活動研究センター長
委 員	国立大学法人鹿児島大学総合研究博物館長
委 員	公益財団法人鹿児島市水族館公社館長
委 員	鹿児島市立科学館長
委 員	鹿児島県立博物館長
委 員	石橋記念公園館長
委 員	鹿児島県地学会長
委 員	NPO法人桜島ミュージアム理事長
委 員	NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
委 員	NPO法人くすの木自然館代表理事
委 員	桜島ジオサルク代表
委 員	NPO法人Smile Factory代表理事
委 員	株式会社南日本新聞社営業局事業本部長
委 員	株式会社エフエム鹿児島代表取締役社長
委 員	鹿児島シティエフエム株式会社代表取締役社長
委 員	NPO法人たるみずまちづくり放送理事長
委 員	株式会社あいらFM代表取締役
委 員	始良市観光協会会長
委 員	垂水市観光協会会長
委 員	鹿児島市観光交流局長
委 員	始良市企画部長
委 員	垂水市水産商工観光課長
監 事	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事
監 事	鹿児島市ホテル旅館組合理事長

別表2（第10条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会幹事会幹事

役 職	職 名
座 長	鹿児島市観光交流局次長
幹 事	国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所調査第一課建設専門官
幹 事	鹿児島地方気象台防災管理官
幹 事	環境省九州地方環境事務所霧島錦江湾国立公園管理事務所国立公園利用企画官
幹 事	林野庁九州森林管理局鹿児島森林管理署総括地域林政調整官
幹 事	鹿児島県鹿児島地域振興局総務企画部総務企画課長
幹 事	鹿児島県始良・伊佐地域振興局総務企画部総務企画課長
幹 事	鹿児島県大隅地域振興局総務企画部総務企画課長
幹 事	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事務局長
幹 事	公益社団法人鹿児島県観光連盟事務局長
幹 事	一般社団法人日本旅行業協会九州支部鹿児島県地区委員会副委員長
幹 事	鹿児島市ホテル旅館組合主幹
幹 事	鹿児島経済同友会事務局長
幹 事	公益社団法人鹿児島青年会議所理事代表
幹 事	NPO法人桜島ミュージアム理事長
幹 事	NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事
幹 事	NPO法人くすの木自然館代表理事
幹 事	桜島ジオサルク代表
幹 事	NPO法人SmileFactory代表理事
幹 事	鹿児島市企画財政局企画部長
幹 事	鹿児島市危機管理局次長
幹 事	鹿児島市環境局環境部長
幹 事	鹿児島市教育委員会事務局教育部長
幹 事	鹿児島市船舶局次長
幹 事	始良市商工観光課長
幹 事	始良市危機管理課長
幹 事	始良市生活環境課長
幹 事	始良市学校教育課長
幹 事	垂水市総務課長
幹 事	垂水市水産商工観光課長
幹 事	垂水市生活環境課長
幹 事	垂水市学校教育課長

別表3（第12条関係）

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 学術アドバイザー

職 名	氏 名
国立大学法人京都大学 名誉教授	井口 正人
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	大木 公彦
公益財団法人鹿児島市水族館公社 館長	佐々木 章
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	小林 哲夫
文化庁文化財部調査員	寺田 仁志
国立大学法人鹿児島大学 名誉教授	富永 茂人
NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事	東川 隆太郎
株式会社島津興業尚古集成館 館長	松尾 千歳

令和5年度事業報告

令和5年度は、鹿児島市、始良市、垂水市で連携し、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図るため、日本ジオパーク認定10周年イベントを実施したほか、ジオパーク国際ユネスコ会議への参加など国際交流・国際貢献に関する取組を進めた。
※取組項目に記載の【◎】は、日本ジオパーク新規認定（エリア拡大）審査において示された課題に対するアクションプランに関連した取組。

【基本方針1 経済】に関する取組

1 ジオツアー（1回）【◎】

(1) 錦江湾ワンオク一周！ジオパーク魅力発見バスツアー

桜島・錦江湾ジオパークと隣接する霧島ジオパークにまたがる錦江湾奥を1周し、ジオパークの恵みを体感するバスツアーを実施。

【実施日】 令和5年12月2日（土）

【参加者】 40名（定員：40名）

【ジオ資源等】 桜島ビジターセンター、福山黒酢畑
上野原展望台、道の駅たるみず
重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム



2 イベント

日本ジオパーク認定10周年記念イベント

(1) 灰フェス！

平成25年度の日本ジオパークの認定から10周年を迎えることを記念するイベントとして、4年ぶりに「灰フェス！」を開催した。

【開催日】 令和5年11月12日（日）

【場所】 ウォーターフロントパーク

【来場者数】 約11,000人

【内容】 ステージイベント（記念セレモニー、火山灰アート等）
体験ブース（ロードスノーピー試乗、火山灰を使ったワークショップ等）
飲食ブース（垂水カンパチのレモンマリネ丼等）



(2) 「あいら DE ジオパーク」パネル展

始良市内にあるジオサイトや見どころなど、始良市のジオパークの魅力をわかりやすく紹介する企画展を開催した。

- 【実施期間】 ①令和5年11月1日(水)～令和6年1月14日(日)
②令和6年1月26日(金)～2月8日(木)
- 【実施場所】 ①重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム
②イオンタウン始良



(3) 桜島・錦江湾ジオパークパネル展 in たるみず

桜島・錦江湾ジオパークの6つのストーリーや10年の歩みをパネルで紹介した。

- 【実施期間】 令和5年11月1日(水)～11月30日(木)
- 【場 所】 道の駅たるみずはまびら情報室

(4) たるみず海岸ジオ体験

ジオパークの魅力を広めるため、海岸でのワークショップを開催した。

- 【開催日】 令和5年11月26日(日)
- 【場 所】 マリンパークたるみず
- 【参加者数】 30人
- 【内 容】 流木、貝殻、シーグラスを使ったプチアート体験
砂浜アート体験



(5) #桜島錦江湾ジオパーク大好きフォトコンテスト

ジオパークエリア内の風景やモノ・コトを写した写真とそれにまつわるストーリーをInstagramに投稿するフォトコンテストを開催した。

- 【応募期間】 令和5年10月1日(日)～12月25日(月)
- 【応募件数】 162件
- 【入賞作品】 10件(うち4名に入賞特典のインタビューを実施)



(6) 認定10周年記念ジオパークスタンプラリー

桜島・錦江湾ジオパークの見どころをめぐって、市民や観光客のジオに関する知識や認知度の向上を図ることを目的として実施。(鹿児島市観光アプリ「わくわく」を活用)

- 【実施期間】 令和5年7月22日(土)～11月30日(木)
- 【対象施設】 46施設(灰フェス会場含む)
- 【参加人数】 781名(うち4名が全施設達成)



3 ガイド活動支援【◎】

(1) 認定ジオガイド活動補助金交付

認定ジオガイドで構成される団体に対し、活動補助金を交付した。

【補助団体】 桜島ジオサルク

【補助金額】 200,000 円

(2) 認定ジオガイド新規養成

環境省霧島錦江湾国立公園管理事務所と連携し、ジオパークと国立公園の知識、インタープリテーションの技術を学ぶ新規認定講座を実施。

【受講者数】 40名（入門講座）

【講座内容】 ジオパークや国立公園についての講義
インタープリテーションの4つの要素（TORE）に関する講義、TOREを取り入れたトークプログラム実演等

【認定者数】 24名



4 石の文化と火山のつながりプロモーション

(1) 夏休み子ども集中講座

【実施日】 令和5年7月23日（日）

【参加者】 9組（定員：親子10組）

【内容】 重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム展示による地質解説
黒川岬や龍門司坂、住吉池などでの解説等



(2) ガイド研修会

【実施日】 令和5年9月14日（木）

【参加者】 9名

【内容】 垂水市の地形・地質に関するワークショップ

(3) ガイドマップ作成

（石の文化と火山のつながりマップ～実はとんでもなく面白い垂水市編）

【内容】 垂水市のまち歩きやバスツアーで活用できるガイドマップを作成した。

【部数】 3,000部



(4) 新作ガイドマップを活用したガイド対象現地研修会

【実施日】 令和6年3月14日（木）

【参加者】 24名（定員：25名）

【内容】 完成予定のマップを手元にガイドを掲載地へ案内
太崎観音崎、市来地区の垂水火砕流の露頭、新城



5 ガイドマップ【◎】

(1) 桜島・錦江湾ジオパークガイドマップ（日本語・英語）を印刷し配布した。

【日本語】 40,000部

【英語】 10,000部

(2) エリア内の体験アクティビティをまとめたマップ（日本語）を印刷し配布した。

【日本語】 10,000部

6 看板設置【◎】

(1) 記名サイン・説明板の設置、修繕

鹿児島市：仙巖園ほか6か所（修繕）

始良市：龍門滝、金山橋・板井手の滝（記名サイン設置）、始良市歴史民俗資料館（説明板設置）

垂水市：荒崎パーキングエリア、高峠（記名サイン設置）

(2) ジオ資源看板ワークショップ

各市に設置する看板（記名サイン、説明板等）について関係者で検討するワークショップを開催した。

【実施日】 令和6年2月2日（金）

【場所】 鹿児島市役所みなと大通り別館ソーホー会議室

【参加者】 13名

【内容】 桜島・錦江湾ジオパークのデザイン戦略を共有し、ターゲットや目的、作成ポリシー、今年度設置場所について議論した。

7 ジオガストロノミープロモーション【◎】

(1) 鹿児島の地形・地質と食（文化）とのつながりをストーリー付け、発信する取組の方向性を検討するため、民間の委員を交えた検討会議を開催した。

① 第1回

【実施日】 令和5年5月25日（木）

【委員】 5名

【内容】 事業目的・意義について整理、今後の取組や10周年記念イベントについて

② 第2回

【実施日】 令和5年6月19日（月）

【委員】 4名

【内容】 認定制度についての検討、10周年記念イベントへのアイデア出し

③ 第3回

【実施日】 令和6年2月28日（水）

【委員】 5名

【内容】 今年度の取組状況について、今後の取組について

(2) かごつまふるさと屋台村と連携したイベント開催

かごしま国体・かごしま大会とのコラボ企画として、桜島・錦江湾ジオパークエリア内の食材（桜島の特産品）を使用した各店舗オリジナルメニューの提供を行った。



【基本方針2 教育】に関する取組

1 桜島・錦江湾ジオパークスケッチコンクール【◎】

桜島や錦江湾の自然や風景、桜島・錦江湾での遊びや農業体験などのジオに関連するものを描くことを通じて、桜島・錦江湾ジオパークの魅力を知り、自分たちの住んでいる地域を再認識することで、愛着や誇りを持ってもらうことを目的としてスケッチコンクールを実施した。

- 【対 象】 鹿児島市、始良市、垂水市の市立小学校に通う小学生
- 【応募総数】 2,884点（58小学校）
- 【表彰式】 令和5年11月12日（日）※灰フェスステージイベント内での開催
- 【受賞数】 鹿児島市長賞1点、始良市長賞1点、垂水市長賞1点、優秀賞8点、優良賞21点、桜島フェリー賞10点、学校賞3点
- 【展 示】 イオンモール鹿児島、イオンタウン始良、猿ヶ城溪谷「森の駅たるみず」、重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム等



鹿児島市長賞



始良市長賞



垂水市長賞



表彰式の様子

2 詮議

郷中教育で重視された「詮議」を基にした、防災についてのカードゲームを活用し、防災について考える力を養う講座を実施した。

No	実施日	実施団体	参加者
1	令和5年8月23日（水）	鴨かもサロン	11名
2	令和5年11月14日（火）	小牧建設株式会社	33名
3	令和5年12月21日（木）	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	32名
4	令和6年2月19日（月）	吉野東小学校こども教室	55名

3 桜島火山防災連絡会への参加（4回）

- 【内 容】 京都大学・鹿児島地方気象台による桜島の現状についての説明等

4 第54回桜島火山爆発総合防災訓練でのブース出展

桜島の噴火モデル実験を実施し、防災に関する啓発を行った。

- 【実施日】 令和6年1月13日（土）
- 【場 所】 鹿児島市立名山小学校



5 災害遺構に関する国際的研究拠点形成のための国際シンポジウム

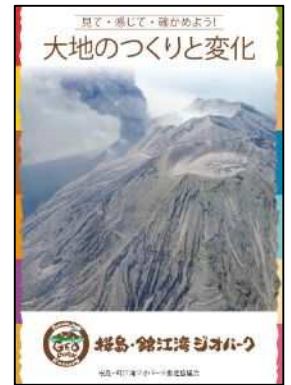
- 【内 容】 災害遺構に関するシンポジウムへの参加（京都大学主催）
- 【実施日】 令和5年11月25日（土）
- 【場 所】 TKP ガーデンシティ鹿児島

6 副読本の作成・配布【◎】

地学への関心を高めるとともに、郷土への誇りや愛着の醸成を図るため、3市の小学6年生を対象に、理科の「大地のつくりと変化」の単元についての副読本を配布した。

(1) 配布 7,301 部

- ・鹿児島市立小学校 83 校、
鹿児島大学附属小学校、池田小学校、三育小学校、特別支援学校
- ・始良市立小学校 17 校
- ・垂水市立小学校 7 校



(2) 活用状況に係るアンケート（対象：エリア内小学校 107 校 有効回答 96 校、未回答 11 校）

小学6年理科の単元「大地のつくりと変化」において、副読本を授業で活用したか？

- ・活用した 90 校 (93.8%)
- ・活用しなかった 6 校 (6.2%)

7 ジオ講座（5回）【◎】

(1) ジオ講座「ジオから防災を考えよう」

8・6 水害から 30 年の節目を迎え、地形・地質の観点から 8・6 水害がどのようなメカニズムで引き起こされたのか、今後どのように備えをすればよいかについての講演を開催した。

- 【実施日】 令和 5 年 7 月 16 日（日）
- 【場 所】 かがしま県民交流センター4 階大研修室 3
- 【参加者】 55 名（定員：80 名）
- 【講 師】 大木 公彦氏（鹿児島大学名誉教授）
東川 隆太郎氏（NPO 法人かがしま探検の会）



(2) ジオ講座「親子で体験シャワークライミング」

猿ヶ城溪谷でのシャワークライミング体験を通して、桜島・錦江湾ジオパークについて学ぶ講座を開催した。

- 【実施日】 令和 5 年 7 月 30 日（日）
- 【場 所】 猿ヶ城溪谷「森の駅たるみず」
- 【参加者】 16 名（定員：20 名）



(3) ジオ講座「たるみず再発見！瀬角さんとまち歩き」

大隅史談会の瀬角氏を講師に、垂水の歴史や文化とジオとのつながりを学び体験する講座を開催した。

- 【実施日】 令和 5 年 12 月 10 日（日）
- 【場 所】 垂水市文化会館、お長屋、垂水島津家墓所
- 【参加者】 15 名（定員：20 名）
- 【講 師】 瀬角 龍平氏（大隅史談会会長）



- (4) ジオ講座「重富海岸の干潟を歩いて錦江湾の地形を知ろう」
重富海岸にて、錦江湾の地形を解説するジオ講座を開催した。
- 【実施日】 令和6年1月13日（土）
- 【場 所】 重富海岸
- 【参加者】 21名（定員：20名）
- 【講 師】 大木 公彦氏（鹿児島大学名誉教授）



- (5) ジオ講座「錦江湾のワカメの養殖を見学しよう」
ワカメの自生地の南限にあたる錦江湾で行われている、ワカメ養殖の様子を船に乗って見学、収穫体験を行う講座を開催した。
- 【実施日】 令和6年2月11日（日）
- 【場 所】 加治木港周辺、黒川岬
- 【参加者】 11名（定員：12名）
- 【講 師】 梶 健一氏（鹿児島県漁業協同組合錦海支所）



8 ジオ出前授業・中高の連携

- (1) 県立青少年研修センターへ講師派遣
県立青少年研修センターのサマーキャンプにジオパーク学術推進員を派遣し講義を行った。
- 【実施日】 令和5年7月27日（木）
- 【講 師】 吉瀬学術推進員
- 【内 容】 桜島や錦江湾の地形や景観、生物等について
- (2) 日本火山学会主催「親子で火山実験 2023」のテキスト執筆
日本火山学会が主催した親子向け火山実験に使用するテキストの執筆を行った。
- 【内 容】 桜島の火山噴火について執筆

【基本方針3 保護・保全】に関する取組

- 1 ジオ資源保全会議の開催【◎】
ジオ資源の保全と適切な利活用を図るため、桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全会議を設置し、関係機関との情報共有や意見交換等を実施した。

【開催日】 令和6年2月7日（水）
- 2 ジオ資源台帳の整備【◎】
ジオ資源保全会議での審議を踏まえ、新たにジオ資源（関連施設）を1件追加した。

始良市：始良市歴史民俗資料館
- 3 ジオ資源パトロールの実施
ジオ資源の現状確認や、新たなジオ資源の調査のために、ジオ資源パトロールを行った。

鹿児島市：比志島の滝、滝之下の滝ほか
始良市：桃木野の石切り場跡ほか
垂水市：猿ヶ城溪谷の花崗岩と泥岩、砂岩の分岐点について調査

4 学術研究助成【◎】

(1) 桜島・錦江湾ジオパークエリアにおける学術的根拠の充実のため、2件の研究に対して助成を行った。

① 現代の桜島火山が支える周辺環境の評価とそれを利用する渡り鳥の暮らし

- 【対象者】 天野 孝保（長崎大学大学院）
- 【実施期間】 令和5年9月1日（金）～令和6年2月29日（木）
- 【助成金額】 300,000円

② 桜島および錦江湾沿岸の海中湧出流体の分布および成分調査

- 【対象者】 北村 有迅（鹿児島大学学術研究院理工学域理学系）
- 【実施期間】 令和5年9月1日（金）～令和6年2月29日（木）
- 【助成金額】 284,000円

(2) 学術研究報告会の開催

研究助成の成果を地元の住民に還元するため、報告会を行った。

- 【実施日】 令和5年8月24日（木）
- 【場所】 マークメイザンAスタジオ
- 【参加者】 28名
- 【内容】 令和4年度助成研究報告2件
 - ① 吉田 匠（信州大学総合理工学研究科）
 - ② 西原 歩（産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門）



5 3市に共通するジオストーリーにまつわるワークショップ

3市に共通するジオストーリーの掘り起こしのため、有識者やジオガイド等と、錦江湾奥の湾内航路などについて意見交換を行った。

- 【実施日】 令和6年3月6日（水）
- 【場所】 鹿児島市役所みなと大通り別館ソーホー会議室
- 【参加者】 15名



【基本方針4 運営体制】に関する取組

1 協議会・会議【◎】

開催日	会議名	内容
令和5年4月21日（金）	3市主管課長会議	・令和5年度第1回桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会について ・日本ジオパーク認定10周年イベントについて
4月27日（木）	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会幹事会	・桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則の一部改正 ・令和4年度事業報告及び決算 ・令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）
5月12日（金）	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会	・桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会会則の一部改正 ・令和4年度事業報告及び決算 ・令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）
6月5日（月）	ワーキンググループ	・日本ジオパーク認定10周年記念イベントについて
6月29日（木）	ワーキンググループ	・日本ジオパーク認定10周年記念イベントについて
令和6年2月2日（金）	ワーキンググループ	・今年度の看板設置（記名サイン）について ・看板設置計画について

・月例ミーティング

- 【実施日】 令和5年5月10日（水）、6月7日（水）、7月12日（水）、8月2日（水）、
9月6日（水）、10月4日（水）、12月6日（水）、令和6年1月10日（水）、
2月6日（火）、3月5日（火）
- 【内 容】 各項目の進捗や共有事項確認のため3市担当者会議を実施

2 世界認定を見据えた体制構築・協議【◎】

(1) 霧島ジオパークとのエリア統合に向けた取組

① 霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局との意見交換（5回）

【実施日】 令和5年5月18日（木）、8月23日（水）、10月2日（月）、
12月1日（金）、令和6年3月15日（金）

【内 容】 両ジオパークの今後の連携、統合にかかるスケジュールや協議事項の検討 等
（今後の協議事項）
エリア設定、機運醸成、予算の積算、ジオパークテーマ設定及びジオサイト等の
検討、運営体制の検討、推進計画の策定 等

② 桜島・錦江湾、霧島ジオパーク構成自治体担当課職員ワークショップ

【実施日】 令和6年1月18日（木）

【場 所】 鹿児島市役所西別館東部保健センター講堂

【参加者】 29名

【内 容】 両ジオパークの理解を深めるため対話形式での
ワークショップを実施



3 資金調達

白金酒造株式会社からの寄附金受入

(1) 令和4年度寄附に係る感謝状贈呈式

【日 程】 令和5年6月2日（金）

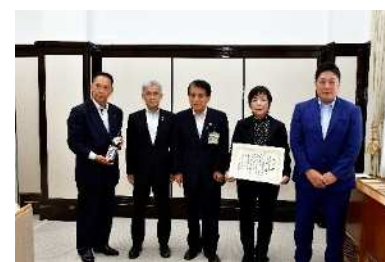
【出席者】 白金酒造株式会社

（竹之内代表取締役社長、川田代表取締役専務）

国分グループ本社株式会社（勝氏）

協議会（松山鹿児島市副市長（会長代理）

宮田始良市副市長（副会長代理）



(2) 令和5年度寄附

【寄附金額】 204,670円（国分グループ本社株式会社への「薩摩白金」シリーズの出荷数に10を
乗じた金額から振込手数料を除いた金額）

【出荷数】 20,500本

【出荷期間】 令和5年1月1日（日）～12月31日（日）

4 ジオカフェ（2回）

幅広い世代にジオパークを周知するため、お茶やお菓子を楽しみながら気軽に桜島・錦江湾ジオパークの魅力に触れ、学べるイベントを実施

(1) 関連施設向けジオカフェ

桜島・錦江湾ジオパークの関連施設の職員を対象に、桜島・錦江湾ジオパークについて学び、参加者同士の対話形式でのワークショップを行った。

- 【実施日】 令和6年3月21日（木）
- 【場 所】 かごしま市民福祉プラザ5階小会議室3・4
- 【参加者】 12名（8機関）
- 【講 師】 福島 大輔氏（NPO法人桜島ミュージアム理事長）
- 【テ ー マ】 桜島・錦江湾ジオパークについて、ジオパークを使ったストーリーについて

(2) ジオカフェ in 始良「帖佐人形の絵付けを体験しよう」

別府川周辺の粘土で作られていた帖佐人形の絵付けを体験し、伝統文化に触れるイベントを開催した。

- 【実施日】 令和5年12月16日（土）
- 【場 所】 始良市歴史民俗資料館
- 【参加者】 20名（定員：15名）
- 【講 師】 下鶴 弘氏（始良市歴史民俗資料館館長）



5 PR活動・ブース出展

(1) エリア内でのPR活動・ブース出展

No	実施日	イベント（主催）	PR内容	参加人数
1	7月23日（日）	潮風フェスタ （錦江湾潮風フェスタ実行委員会）	プラ蓋で桜島立体模型を作ろう！	約35名
2	10月21日（土） 22日（日）	環境フェスタ （環境未来館）	錦江湾のいきものぬりえ	約170名
3	10月21日（土）	火山学会親子講座 （日本火山学会）	桜島の噴火実験	約30名
4	令和6年 1月27日（土）	火の島めぐみ館感謝祭 （火の島めぐみ館）	錦江湾のおさかな釣り体験	約60名
5	3月23日（土） 24日（日）	SDGsフェスタ （環境未来館）	錦江湾のおさかな釣り体験	約300名

(2) エリア外でのPR活動・ブース出展

No	実施日	イベント（主催）	PR内容	参加人数
1	令和6年 3月 3日（日）	南紀熊野ジオパークフェスタ （南紀熊野ジオパーク推進協議会）	錦江湾のおさかな釣り体験	約50名

6 民間企業との連携

(1) 日本たばこ産業株式会社との連携

① ジオパークPRポップ掲出

日本たばこ産業株式会社及び南九州ファミリーマートと連携し、県内のコンビニスタンド灰皿にジオパークPRポップを掲出した。

（令和5年5月～令和6年5月）



② 「J Tの森重富」秋の森林保全活動への参加及び講話

【実施日】 令和5年11月18日（土）

【内容】 ジオパーク学術推進員によるジオパークの魅力について、樹名板の設置

【参加団体】 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会、南九州ファミリーマート

(2) かごつまふるさと屋台村との連携（再掲）

かごしま国体・かごしま大会とのコラボ企画として、桜島・錦江湾ジオパークエリア内の食材（桜島の特産品）を使用した各店舗オリジナルメニューの提供を行った。

7 大学との連携

鹿児島女子短期大学「ライフデザイン論Ⅰ」

【実施日】 令和5年6月14日（水）

【内容】 桜島・錦江湾ジオパークの魅力、防災カードゲーム「詮議」

【参加者数】 約90名

8 関連施設との連携

(1) 桜島・錦江湾ジオパークスタンプラリーでのラリーポイントへの協力（10施設）

(2) 始良市歴史民俗資料館の関連施設への追加

(3) 関連施設向けジオカフェ（再掲）

桜島・錦江湾ジオパークの関連施設の職員を対象に、桜島・錦江湾ジオパークについて学び、参加者同士の対話形式でのワークショップを行った。

9 ネットワーク活動

(1) JGN（日本ジオパークネットワーク）

日本ジオパークネットワーク（以下、JGN）、日本ジオパーク委員会（以下、JGC）の大会、研修会等参加

① JGN通常総会

【開催日】 令和5年5月30日（火）

【内容】 事業報告・計画、決算・予算、役員選任

② JGN全地域事務局長会議（2回）

【開催日】 令和5年8月29日（火）、令和5年10月27日（金）

【内容】 通常総会以降の進捗状況、JGN中期計画の活用 等

③ JGN運営会議

【開催日】 令和5年10月27日（金）

【内容】 中期計画を踏まえたネットワーク強化策 等

④ 第13回日本ジオパーク全国大会関東ブロック大会

【開催日】 令和5年10月27日（金）～10月29日（日）

【内容】 分科会参加等

⑤ 第18回全国研修会（糸魚川）

【開催日】 令和6年2月7日（水）～2月9日（金）

【内容】 グループディスカッション、フォッサマグナミュージアム視察 等

⑥ JGNでの役割

- ・日本ジオパーク委員会現地調査員：柴国際推進員
- ・JGNジオパークおためし検定問題作成委員：吉瀬学術推進員
- ・国際交流ワーキンググループメンバー：柴国際推進員、和田国際推進員
- ・地質標本ワーキンググループメンバー：吉瀬学術推進員、柴国際推進員、和田国際推進員
- ・ジオパークネットワークを活用した展示と地域を結ぶ博物館機能強化事業
(地球時間の旅展)メンバー：吉瀬学術推進員

(2) GGN (国際ジオパークネットワーク)

① 第10回ジオパーク国際ユネスコ会議 (モロッコムゴウンユネスコ世界ジオパーク) への出席

- 【日 程】 令和5年9月7日(木)～11日(月)
- 【参加者】 福島委員、柴国際推進員、和田国際推進員
- 【内 容】 口頭発表(桜島・錦江湾ジオパークのPRや取組)
ユネスコ世界ジオパークのメンバーやカウンスルとの交流・情報交換
将来の世界認定を見据えた情報収集および人脈構築

② ジオダイバーシティデー記念イベントで基調講演

- 【日 程】 令和5年10月16日(月)
- 【開催者】 コーラートユネスコ世界ジオパーク(タイ)
メラングン・ジャンビ・ユネスコ世界ジオパーク(インドネシア)
- 【参加者】 川畑事務局長、和田国際推進員
- 【内 容】 基調講演(桜島・錦江湾ジオパークにおける石の文化と火山のつながり)
ユネスコ世界ジオパークのメンバーやカウンスルとのオンライン交流

(3) APGN (アジア太平洋ジオパークネットワーク)

① アジア太平洋ジオパークネットワークオンラインミーティングへの参加(5回)

香港ユネスコ世界ジオパーク主催のオンラインミーティングに参加し、アジア太平洋地域を中心とする国内外ジオパークと情報交換を行った。

② 香港ユネスコ世界ジオパークの教育旅行受入(香港メアリーマウントセカンダリースクール)

阿蘇ユネスコ世界ジオパーク及び霧島ジオパークと協力し、各ジオパークでの受入を行った。

- 【日 程】 令和6年3月27日(水)～28日(木)
- 【参加者】 15名(中学生12名、教師2名、ガイド1名)
- 【内 容】 カンパチのエサやり体験、桜島島内視察
- 【視察場所】 海潟漁港、桜島ビジターセンター、黒神埋没鳥居、湯之平展望所など

(4) 他エリアとの交流

① クレーターレイクジオパーク(フィンランド)との交流

意見交換会・灰フェス視察

- 【日 程】 令和5年11月10日(金)、11月12日(日)
- 【参加者】 クレーターレイクGP会長
桜島・錦江湾GP委員、事務局長
- 【内 容】 双方のジオパークの取組、観光
産業分野での連携、灰フェス現地視察



② 南紀熊野ジオパーク推進協議会の視察受入

【受入日程】 令和5年9月6日（水）～7日（木）

【参加者】 2名

【視察内容】 サイト看板、ビジビリティ、民間事業者との連携について

【視察場所】 桜島ビジターセンター、黒神埋没鳥居、有村溶岩展望所、湯平展望所など

③ モロッコ大地震復興支援企画展（阿蘇ユネスコ世界ジオパークとの共催）及び被災地募金

【日 程】 令和5年11月3日（金）～11月30日（木）

【場 所】 桜島ビジターセンター

【内 容】 当時の現地写真展示、義援金は駐日モロッコ大使館へ送付

④ 隠岐ユネスコ世界ジオパークへの視察

【受入日程】 令和6年2月1日（木）～4日（日）

【参加者】 3名（事務局次長1名、事務局員2名）

【視察内容】 ジオパークを基盤とした観光振興の取り組みについて

宝探しゲーム（大地の鼓動と4つの島）の実施状況について

ジオサイトの看板整備、ビジビリティについて

【視察場所】 隠岐の島町（隠岐自然館、西郷岬など）、知夫村（赤壁、島津島）

海士町（ホテルEnto、隠岐神社など）、西ノ島町（摩天崖、焼火神社など）

(5) 霧島ジオパークとの連携

① ジオツアー「錦江湾ワンオケー周！ジオパーク魅力発見バスツアー」での連携

② 上野原縄文の森企画展「人のあゆみとジオストーリー」での協力

③ 灰フェス！イベントでのブース「霧島連山VR体験」出展

④ 認定ジオガイド向け研修会（福山地区黒酢歴史と地形とのかかわり）での講師

(6) 三島村・鬼界カルデラジオパークとの連携

灰フェス！イベントでのブース「椿油とミツロウのバーム作り」出展

(7) 喜界島ジオパーク（構想）との連携

① 灰フェス！イベントでのパネル展示及びパンフレット配布

② 喜界島ジオパーク推進協議会訪問受入

【受入日程】 令和6年2月20日（火）

【参加者】 3名（事務局長、推進員など）

【訪問内容】 意見交換（事務局体制など）

(8) 糸魚川ジオパーク実施事業「地球時間の旅展」への協力

巡回展示「地球時間の旅」の研修会が桜島で開催され、実施にむけた協力と研修会へ参加を行った。

① 第2回研修会

【開催場所】 国立科学博物館

【日 程】 令和5年12月13日（水）

【参加者】 吉瀬学術推進員、他ジオパーク関係者30名

② 第3回研修会

【開催場所】 レインボー桜島

【日 程】 令和6年1月16日（火）、17日（水）

【参加者】 吉瀬学術推進員、和田国際推進員、事務局員2名、他ジオパーク関係者30名

③ モニター展示

- 【開催場所】 糸魚川フォッサマグナミュージアム
 【日 程】 令和6年2月9日（金）
 【参加者】 柴国際推進員、他ジオパーク関係者40名

1.0 ホームページ・SNSの運用【◎】

(1) 桜島・錦江湾ジオパークホームページやSNS（フェイスブック、Instagram）の運用

- ① 各種イベントの告知や実施状況について発信
 ② ホームページの一部リニューアル（エリア内の関連施設及びジオ資源情報の追加）

(2) 桜島爆発カウンターの更新

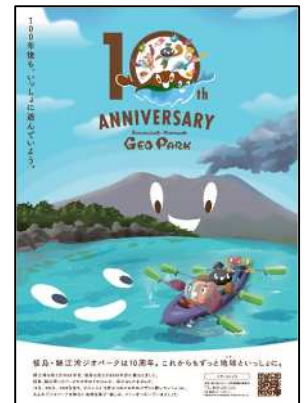
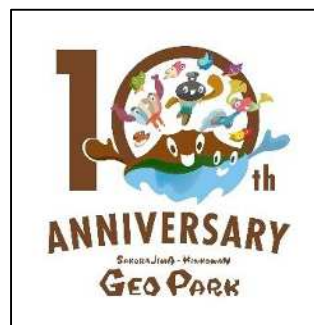
(3) 体験プログラム動画の活用

令和2年度に作成した桜島・錦江湾ジオパークの自然などを体験できるプログラムの動画をホームページ、SNS等に掲載したほか、桜島フェリーターミナルにおいて放映した。

1.1 デザイン戦略

認定10周年記念デザインの製作

- (1) 認定10周年記念ロゴマークの作成
 (2) 認定10周年記念デザインポスターの製作
 作成枚数 150枚



1.2 PRグッズ作成・配布

桜島・錦江湾ジオパークのPRを行うため、マッキーペンとクリアファイルを作成しイベント等で配布したほか、ポロシャツ等を作成し、市役所や関連施設等で販売した。

	作成数	庁内販売	委託販売	販売合計	販売金額
蛍光ペン	3,500本	イベント等での配布用			
ウェットティッシュ	3,000個				
ポロシャツ	289枚	164枚	131枚	295枚	584,105円
畳コースター	-	5枚	166枚	171枚	58,240円
ジオパークマガジン	200冊	0冊	35冊	35冊	14,875円

1.3 各種アンケート調査

(1) 認知度アンケート調査

桜島・錦江湾ジオパークの今後の事業展開の基となるデータ等を収集するため、認知度等のアンケートを実施した。なお令和5年度から始良市、垂水市の関連施設でも調査を行った。

- 【対 象】 桜島ビジターセンター、重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム
 森の駅たるみず来訪者
 【調査期間】 令和5年11月29日（水）～12月31日（日）
 【回答数】 180件（ビジター：97、なぎさ：30、森の駅：53）

① 「ジオパーク」という言葉を知っていますか。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	前年比
知っている 又は、 聞いた（見た）ことはある	49.0%	63.6%	61.3%	62.3%	61.7%	75.6%	+13.9%
知らない	44.8%	33.0%	33.9%	35.8%	37.2%	23.9%	※13.3%改善
未回答	6.2%	3.4%	4.8%	1.9%	1.1%	0.5%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

② 桜島・錦江湾エリアが日本ジオパークに認定され、「桜島・錦江湾ジオパーク」が誕生したことを知っていますか？

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	前年比
知っている 又は、 聞いた（見た）ことはある	31.9%	40.3%	46.8%	34.9%	28.7%	53.9%	+25.2%
知らない	62.4%	55.7%	46.8%	62.3%	70.2%	44.4%	※25.8%改善
未回答	5.7%	4.0%	6.4%	2.8%	1.1%	1.7%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

1.4 メディアによる情報発信

- ・南日本新聞フェリア終面「Close Up」での国際推進員の特集記事
- ・南日本新聞「大波小波」白金酒造株式会社寄付金に対する感謝状贈呈式の記事掲載
- ・南日本新聞にて令和5年度学術研究報告会の記事掲載
[桜島・錦江湾ジオパークスタンプラリー](#)
- ・エフエムかごしま「FRIDAY MORNING DIVER」での認定記念スタンプラリーPR
- ・南日本新聞にてスタンプラリーの記事掲載
[桜島・錦江湾ジオパーク認定10周年関連](#)
- ・記念イベント「灰フェス！」メディアPR
 MBC南日本放送、KKB鹿児島放送、エフエムかごしまでのイベントPR
 南日本新聞、南日本リビング新聞、読売新聞での記事掲載
 KKB鹿児島放送による当日の様子の放送
- ・鹿児島市政広報番組「マグマっこTV」でのイベントPR
- ・MBCラジオ「RADIO BURN」での桜島・錦江湾ジオパークPR
- ・南日本新聞にて10周年を記念して屋台村と連携した桜島産食材を使用したメニューの提供記事掲載
[日本たばこ産業株式会社との連携した取組関連](#)
- ・県内のファミリーマートへのジオパークPRポップスタンド灰皿設置
 南日本新聞での記事掲載、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KYT鹿児島読売テレビ、
 KKB鹿児島放送による設置式典の放送
- ・「JTの森重富」での樹名板設置（森の課外活動）
 KTS鹿児島テレビ「かごnewマルシェ」での当日の様子及びインタビュー放送
- ・南日本新聞にて日本たばこ産業株式会社、南九州ファミリーマート、鹿児島市長（協議会会長）との対談記事掲載

[参考] 鹿児島市事業

1 桜島コンシェルジュセンターの運用

桜島・錦江湾ジオパークの案内や外国語（英語）対応を行うため、観光案内等業務委託を行うとともにジオパーク国際推進員・ジオパーク学術推進員を配置した。

また、JNTO 外国人観光案内所「カテゴリー2」認定の更新を行った（令和8年6月29日）。

【桜島コンシェルジュセンター利用実績】

		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数	観光	37,469	47,975	59,138	54,997	12,540	12,335	24,986	39,362
	その他	716	753	822	1,402	2,908	2,434	2,509	819
	計	38,185	48,728	59,960	56,399	15,448	14,769	27,495	40,181
	対前年度（人数）	4,295	10,543	11,232	△ 3,561	△ 40,951	△ 679	12,726	12,686
	対前年度（割合）	112.7%	127.6%	123.1%	94.1%	27.4%	95.6%	186.2%	146.1%

2 桜島・錦江湾ジオパークWAON寄付金

桜島・錦江湾ジオパークのロゴマーク等をWAONのデザインにすることで、桜島・錦江湾ジオパークを市民等に広く周知するとともに、寄附金を受入れ、持続可能なジオパーク活動の確立を図る。

【寄付金額】 504,487円（上記WAONを利用して支払われた金額の0.05%）

【対象期間】 令和5年3月1日（水）～令和6年2月29日（木）（1年毎の自動更新）

3 認知度アンケート調査

鹿児島市民の方を対象に、桜島・錦江湾ジオパークを理解し、活動に参加していただくため、ジオパークの認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするため、隔年にてアンケートを実施。

【対象】 まちかどコメンテーター（市内に住むか、通勤・通学する18歳以上の方）

【調査期間】 令和5年10月6日（金）～10月25日（水）

【回答数】 316件

・鹿児島に「桜島・錦江湾ジオパーク」があることを知っていますか。

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	前回比
知っている 又は、 聞いた（見た）ことはある	－	58.6%	－	60.3%	－	62.0%	+1.7%
知らない	－	40.9%	－	39.7%	－	38.0%	※ 1.7%改善
未回答	－	0.5%	－	0.0%	－	0.0%	
合計	－	100.0%	－	100.0%	－	100.0%	

4 エリアマップ

桜島周辺に特化したエリアマップを増刷し、関係機関及びマップ掲載店舗等に配付した。

【印刷数】 24,000部（日本語）

20,000部（英語）

19,000部（繁体語）

[参考] 始良市事業

1 ジオパーク活動に関する情報発信

- (1) 市ホームページ、広報誌、Instagram 等において、ジオパーク活動に関する情報発信を行った。
- (2) 県内外の各種イベントでジオパークをPRした。
- (3) TJ カゴシマの「蒲生郷タイムズ」のコーナーで、ジオ講座や企画展の広報を行った

2 その他

- (1) なぎさミュージアム企画展「あいら DE ジオパーク」をイオンタウン始良で開催した。
- (2) 「あいらぶ！サイエンス講座」では、科学の専門家と一緒に、地元の身近な自然（天文学、発酵学、地質学、気象学）に関する講座を実施し、体験的な活動を通して科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学への見方・考え方を豊かにすることができた。



[参考] 垂水市事業

1 ジオパーク活動に関する情報発信

- (1) 垂水市のホームページや広報誌「TARUMIZU」、水産商工観光課 Facebook 等において、ジオパーク活動に関する情報発信を行った。
- (2) 垂水市観光パンフレット（20,000部作成）に、市内のジオサイトを掲載した。
- (3) たるみずふれあいフェスタ 2023 秋の産業祭（11/5開催）において、ジオパークパネル展及びジオパーククイズ（ステージイベント）を実施し、ジオパークをPRした。
- (4) 関西地区観光ビジネスモデル事業で、ジオ資源である養殖ブリ・カンパチを使ったメニューを提供すると共に、桜島と錦江湾の目前でジオパークについて紹介した。

【実施回数】 28回

【対象者数】 854名（R6年2月末現在）

2 民間企業との連携

- (1) ジオロゴを使用したクッキーを販売していた市内菓子店に依頼し、10周年記念ロゴを使用したクッキーを制作した。
- (2) 市内飲食店の開発した垂水カンパチのレモンマリネ丼を、10周年イベント「灰フェス！」で市外初披露し、ジオ資源である養殖カンパチをPRした。



第3号議案

令和5年度収支決算

【収入】

【単位：円】

款項	目	当初予算額	流用額	予算現額	収入済額	増減額	備考
負担金		22,985,000	0	22,985,000	22,985,000	0	
	負担金	22,985,000		22,985,000	22,985,000	0	鹿児島市、始良市、垂水市
協賛金		300,000	0	300,000	0	▲ 300,000	
	協賛金	300,000		300,000	0	▲ 300,000	
寄附金		150,000	0	150,000	204,670	54,670	
	寄附金	150,000		150,000	204,670	54,670	寄附金（白金酒造株式会社）
諸収入		580,242	0	580,242	659,051	78,809	
	諸収入	580,242		580,242	659,051	78,809	グッズ等販売、預金利息
繰越金		5,834,758	0	5,834,758	5,834,758	0	
	繰越金	5,834,758		5,834,758	5,834,758	0	前年度繰越
合計		29,850,000	0	29,850,000	29,683,479	▲ 166,521	

【支出】

【単位：円】

款項	目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	不用額	主な内訳
事業費		21,344,000	0	21,344,000	19,246,778	2,097,222	
	経済活動費	17,967,000	▲ 53,000	17,914,000	16,060,313	1,853,687	・認定10周年記念イベント「灰フェス」 企画運営等業務委託料 6,200,000 ・活動支援業務委託料 3,673,198
	教育活動費	2,269,000	53,000	2,322,000	2,320,589	1,411	・副読本印刷製本費 1,672,385
	保護・保全活動費	1,108,000		1,108,000	865,876	242,124	・学術研究助成金 571,256
事務局費		8,206,000	0	8,206,000	7,986,325	219,675	
	協議会運営費	8,206,000		8,206,000	7,986,325	219,675	・委託料 (推進活動支援業務委託料、PRグッズ作成等) 3,239,486 ・負担金 (JGN年会費、GGN出席負担金等) 940,783
予備費		300,000	0	300,000	0	300,000	
	予備費	300,000		300,000	0	300,000	
合計		29,850,000	0	29,850,000	27,233,103	2,616,897	

(収入済額計) 29,683,479 円 (支出済額計) 27,233,103 円 = 2,450,376 円 (翌年度へ繰越)

令和5年度
桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会
会計監査報告

令和5年度桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会の会計収支決算について、関係帳簿、預金通帳、領収書を基に監査いたしましたところ、適正に処理されていることを認めましたので、報告いたします。

令和6年4月12日

監 事 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会

専務理事 池田 哲也



監 事 鹿児島市ホテル旅館組合

理事長 淵村 文一郎



第4号議案

令和6年度事業計画（案）

「持続可能な地域づくり」を目指し、観光・交流の推進、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図り、ツアーの実施など、地域と一体となったジオパーク活動の取組を推進するとともに、日本ジオパーク再認定審査に対応する。

基本方針1 経済

(1) 観光振興

- ・ジオツアー

- ・謎解きゲームイベント **新規**

様々なチェックポイントを巡りながらクリアを目指す謎解きゲームを実施し、エリア内の周遊性の向上及び滞在時間の増加を図る。

- ・セミナー・ワークショップ等（※ストーリーづくりや説明板の作成に係る取組）

- ・ガイドマップの作成

- ・説明板の作成

- ・認定ジオガイド養成及び活動支援

- ・体験アクティビティ等プロモーション

- ・桜島・錦江湾ジオパークPR動画の更新 **拡充**

既存のPR動画を拡大エリアの情報や体験アクティビティなどを反映させた内容に更新し、関連施設等での上映などにより認知度向上を図る。

- ・ジオ×アートプロジェクト

(2) 産業振興

- ・ジオガストロノミープロモーション

- ・ブランド力向上・商品開発

基本方針2 教育

(1) 環境教育

- ・スケッチコンクール

- ・ジオキッズ講座

(2) 防災教育

- ・防災カードゲーム「詮議（桜島火山対策の巻）」の実施

- ・桜島火山爆発総合防災訓練への参加

- ・関係機関等との連携

(3) 地球科学的教育

- ・小学6年生向け副読本の増刷・活用

基本方針3 保護・保全

- (1) ジオサイトの適切な保全
 - ・ジオ資源保全台帳の整備
 - ・ジオ資源保全会議の開催
 - ・ジオ資源パトロールの実施
- (2) 学術的根拠の充実
 - ・学術研究助成成果報告会の実施

基本方針4 運営体制

- (1) 協議会体制
 - ・日本ジオパーク再認定審査対応 **拡充**
R2年度に新規認定を受けてから4年目を迎えることから、日本ジオパークの再認定審査を受けるもの。
 - ・霧島ジオパークとのエリア統合に向けた協議
 - ＜参考：ユネスコ世界ジオパーク認定までの流れ＞ 以下の申請を順次行う。
 - ①桜島・錦江湾と霧島のエリア統合申請
 - ②統合ジオパークの国内推薦申請
 - ③ユネスコ世界ジオパーク申請
- (2) 地域社会の参画
 - ・民間企業、関連施設との連携
- (3) ネットワーク活動
 - ・第8回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム（ベトナム）への出席 **新規**
世界ジオパークとの関係構築及び当地域の事例についての口頭発表、ポスター発表を行うため、本会議に出席する。
 - ・アジア太平洋ジオパークネットワークオンライン会議への参加
 - ・海外ジオパークとの交流
 - ・日本ジオパークネットワーク2024年度通常総会
 - ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会
 - ・全地域事務局長会議
 - ・第14回日本ジオパーク全国大会（青森県：下北ジオパーク）
令和6年8月30日（金）～9月1日（日）
 - ・第19回全国研修会（場所未定）
- (4) 広報・広聴
 - ・ホームページやSNSによる情報発信
 - ・イベントにおけるPR活動（日本ジオパーク全国大会、他地域イベントなど）
 - ・桜島に関する情報発信

令和6年度収支予算（案）

【収入】

[単位：円]

款項	目	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	増減額	備考
負担金		19,278,000	22,985,000	▲ 3,707,000	
	負担金	19,278,000	22,985,000	▲ 3,707,000	6年度:鹿児島市14,859千円、始良市2,918千円、垂水市1,501千円
補助金等		3,000,000	0	3,000,000	
	補助金	3,000,000	0	3,000,000	県補助金（地域振興推進事業）
協賛金		300,000	300,000	0	
	協賛金	300,000	300,000	0	広告協賛金
寄附金		200,000	150,000	50,000	
	寄附金	200,000	150,000	50,000	寄附金
諸収入		580,624	580,242	382	
	諸収入	580,624	580,242	382	預金利息、PRグッズ(ポロシャツ等)販売収入など
繰越金		2,450,376	5,834,758	▲ 3,384,382	
	繰越金	2,450,376	5,834,758	▲ 3,384,382	前年度繰越
合計		25,809,000	29,850,000	▲ 4,041,000	

【支出】

[単位：円]

款項	目	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	増減額	主な内訳
事業費		18,258,000	21,344,000	▲ 3,086,000	
	経済活動費	14,881,000	17,967,000	▲ 3,086,000	ガイドマップ印刷経費等 謎解きゲームイベント【新】 6,500,000 PR動画更新【拡】 1,230,570 ジオツアー 1,416,080
	教育活動費	2,269,000	2,269,000	0	副読本作成経費 1,766,330 スケッチコンクール 192,330
	保護・保全活動費	1,108,000	1,108,000	0	学術研究助成等 928,000 ジオ資源パトロール 180,000
事務局費		7,251,000	8,206,000	▲ 955,000	
	協議会運営費	7,251,000	8,206,000	▲ 955,000	旅費 2,558,000 (JGN総会、全国大会、全国研修会、九州ジオパーク連絡会など) 各種負担金 1,247,000 (JGN年会費、JGN活動負担金、APGNシンポジウム出席負担金など) 委託料 2,490,000 (ワーキンググループ開催、ホームページ保守管理、情報発信、PRグッズ作成など)
予備費		300,000	300,000	0	
	予備費	300,000	300,000	0	
合計		25,809,000	29,850,000	▲ 4,041,000	

ただし、必要な経費に過不足が生じたときは、収入の範囲内で、必要な経費に使用できるものとする。